



睦合小だより

令和3年2月17日(水)

第11号

文責：福山 尚美

春がそこまで来ています!



中庭の梅の花が咲きはじめました。濃いピンク色で、とってもきれいです。朝夕は、寒さが厳しい日もありますが、日中は良く晴れて、気持ち良く過ごせる日が増えてきました。最近、子供たちの遊びの幅が広がっています。先日、昼休みに校庭に出てみると、一輪車をすいすいこいで、友達と技を披露し合っていました。子供たちは、何でも覚えるのが早いんですね。いつの間に上達したのでしょうか。びっくりしました。また、委員会活動では、新旧交代が行われ、活動の仕方などを6年生から4年生に引き継いでいます。張り切っている4年生の姿は、本当に眩しいです。

校内持久走大会 2/4(木)

校内持久走大会の日は、少し曇っていて雨もぱらつき、実施できるか心配されましたが、低学年の後、高学年はスタート時刻を変更して、どうにか実施することができました。一定の早さで長く走ること、粘り強く取り組む力を育むことを目的として行いました。

子供たちには『むつあいの心』のむ(むずかしいことにもチャレンジする心)を育てようと話しました。どの学年も、スタートからやる気満々で、きつても最後まであきらめずゴールしてくれました。見学した子供たちも順位カード渡しや応援を頑張ってくれました。走るときはきつかったと思いますが、走った後の晴れ晴れとした表情が印象的でした。

保護者の皆様にもたくさん応援にお越しいただき感謝いたします。また、児童の安全のためコースの交通整理をしていただいたPTA役員の皆様にも大変お世話になりました。



雅楽コンサート 2/12(金)

6年生の音楽の時間に、雅楽コンサートを実施しました。今回は、CT外国語でもお世話になっている茶木谷先生とその仲間の方々が一緒に演奏を聴かせて下さいました。雅楽は、日本の伝統的な文化ですが、なかなか生で見ることはできません。楽器や衣装も素晴らしい物ばかりでした。(写真は、HPに掲載中)

～二分の一成人式～ 2/9(水)

4年生では10歳の節目としてのお祝いの式、二分の一成人式を行いました。10という数は、「1つ、2つ、...つ」がなくなるので、『つなしの会』とも呼ばれています。誕生からこれまでお家の方々に見守られ、大切に育ててこられたことに子供たちは改めて気付いたようです。命の誕生やこれからの心や体の変化について助産婦の島津さんから分かりやすく教えていただきました。

子供たちは「自分が生まれてきたことは、当たり前のことではなく奇跡なんだと思いました。」「ぼくは、今日初めて赤ちゃんの人形を抱っこしました。ぼくが生まれてきたときの重さと同じ2800グラムでした。意外と重いなあと感じました。」などの感想を書いていました。最後に、玉名健康な町づくり座談会から、手作りの素敵なペン立てをいただきました。



～新しい先生の紹介～

2月から、スクール・サポート・スタッフとして、永野秀治先生にきていただいています。学校の用務全般のサポートをしていただいています。新型コロナウイルス感染症予防のための消毒作業や印刷、環境整備、宿題やテストの丸付け等をしていただきます。その他、子供たちの見守り等、必要に応じて、いろいろなお仕事をしていただきます。大変お世話になります。みんなも早く仲良くなって欲しいです。

